

**平成 30 年度 蚕糸・昆虫機能利用学術講演会**  
**— 日本蚕糸学会第 88 回大会 —**

会 期：平成 30 年 3 月 19 日（月）～3 月 20 日（火）  
 開 催 場 所：名古屋大学大学院生命農学研究科（名古屋市千種区不老町 1）  
 懇親会会場：ユニバーサルクラブ（名古屋市千種区不老町 1 名古屋大学シンポジオン 2F）  
 大会参加費：（当日受付）正会員 5,000 円、学生会員 4,000 円、非会員 6,000 円  
 懇 親 会 費：（当日受付）正会員 7,000 円、学生会員 4,000 円、非会員 7,000 円

**大会日程**

**第 1 日目 3 月 19 日（月）**

10:00～12:00 シンポジウム 1 「昆虫ゲノム編集の現状と新展開」  
 13:00～14:00 会員総会、日本蚕糸学会賞・日本蚕糸学会進歩賞授与式  
 14:00～15:00 日本蚕糸学会賞受賞記念講演  
 15:15～16:00 特別講演  
 16:15～17:45 シンポジウム 2 「次世代を担う若手研究者が語る昆虫科学最前線 2018」  
 （以上、名古屋大学大学院生命農学研究科）  
 18:00～ 懇親会（ユニバーサルクラブ、電話：052-782-6755）

**第 2 日目 3 月 20 日（火）**

A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
9:00～12:00 昆虫・蚕利用 A01～A12	9:00～12:00 植物・桑 昆虫・蚕生理機能 B01～B12	9:00～12:00 昆虫・蚕遺伝 C01～C12	9:00～12:00 昆虫・蚕病理 D01～D12	9:00～12:00 昆虫・蚕遺伝 E01～E12
13:00～15:00 昆虫・蚕利用 その他 A13～A20	13:00～15:00 昆虫・蚕病理 その他 B13～B20	13:00～15:00 昆虫・蚕遺伝 昆虫・蚕生理機能 C13～C19	13:00～15:00 昆虫・蚕利用 D13～D20	13:00～15:00 昆虫・蚕遺伝 E13～E20
		15:00～17:00 グループ研究会 「クワコ研究会」 G01		

平成 30 年度日本蚕糸学会賞受賞記念講演

3月19日(月) 14:00~15:00 (E会場 第12講義室)

「家蚕微粒子病における感染発現と病原性の遺伝的多様性の解明に関する研究」

岩野 秀俊 会員 (日本大学生物資源科学部)

「バキュロウイルスの宿主制御機構に関する研究」

勝間 進 会員 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

特別講演

3月19日(月) 15:15~16:00 (E会場 第12講義室)

「蚕糸学研究的展開と今後の展望」

山下 興亜 会員 (中部大学)

シンポジウム 1

「昆虫ゲノム編集の現状と新展開」

3月19日(月) 10:00~12:00 (E会場 第12講義室)

1. チョウ目(鱗翅目)昆虫におけるゲノム編集研究の最新の動向 坪田拓也 (農研機構)・高須陽子 (農林水産技術会議)
2. ハエ目昆虫ハマダラカにおけるゲノム編集の利用 山本大介 (自治医大)
3. ナミテントウにおけるゲノム編集技術開発の現状 新美輝幸・安藤俊哉 (基生研、総研大)
4. ハチ目(膜翅目)昆虫におけるゲノム編集研究の進展 畠山正統 (農研機構)
5. ゲノム編集昆虫の安全性評価と規制の可能性 河本夏雄 (農研機構)

シンポジウム 2

「次世代を担う若手研究者が語る昆虫科学最前線 2018」

3月19日(月) 16:15~17:45 (E会場 第12講義室)

1. ガルの炭化水素性フェロモン生合成器官 藤井 毅 (東大院農・農工大院農)・稲葉 寛 (東大院農)・石川幸男 (東大院農)
2. 交尾の「拒否と受容」意思決定を制御する雌の脳神経機構 石元広志 (名古屋大学生命理学)
3. ショウジョウバエ発育過程における核内倍加の役割 大原裕也 (静大)

大会事務局からのお知らせ

★ 大会に参加される方へ ★

1. 大会参加受付は、講義棟 1 階の学生談話室にて、1 日目は午前 9 時から、2 日目は午前 8 時 30 分から開始いたします。事前に大会参加費及び懇親会費を納められた方は、氏名票及び講演要旨集をお受け取りください。未納の方は、受付にてお支払いください。
2. 講演会場及び懇親会場では氏名票を必ずご着用ください。氏名票を着用していない方は入場できません。
3. 大会の最新情報や講演プログラムは、大会ウェブサイトに掲載いたしますのでご利用ください。  
[http://jsss.or.jp/modules/pico4/index.php?content\\_id=1](http://jsss.or.jp/modules/pico4/index.php?content_id=1)  
(日本蚕糸学会トップページ (<http://www.jsss.or.jp/>) の「年次大会」からもリンクしています。)

★ 講演される方へ ★

1. すべての講演は液晶プロジェクターを用いた発表とします。
2. 講演者は各自でノート型コンピュータをご用意いただき、会場係の指示に従ってプロジェクターに接続してください。
3. プロジェクターへの接続はミニ D-Sub15 ピンです。HDMI や USB などのコネクタは接続できませんので、該当するコンピュータをお持ちになる場合は変換コネクタをご用意ください。
4. コンピュータを持参できない方のために、講演会場に Microsoft PowerPoint がインストールされた Windows コンピュータを用意します。講演用のファイルは.ppt または.pptx 形式の PowerPoint ファイルか PDF として作成し、USB メモリーに保存して各セッション開始前に会場係にお渡しください。
5. **講演は 1 題につき 11 分を厳守してください。** 討論 3 分を合わせて 14 分で、第 1 鈴 9 分、第 2 鈴 11 分、終鈴 14 分です。
6. 各講演はプログラムに定められた時刻に開始します。講演が取り消された場合や時間に余裕を生じた場合は討論時間とし、繰り上げることはしません。
7. 講演者は次の講演の座長をお願いします。午前最後の講演者は、午後最初の座長となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、最初の座長は大会運営委員会が指定します。

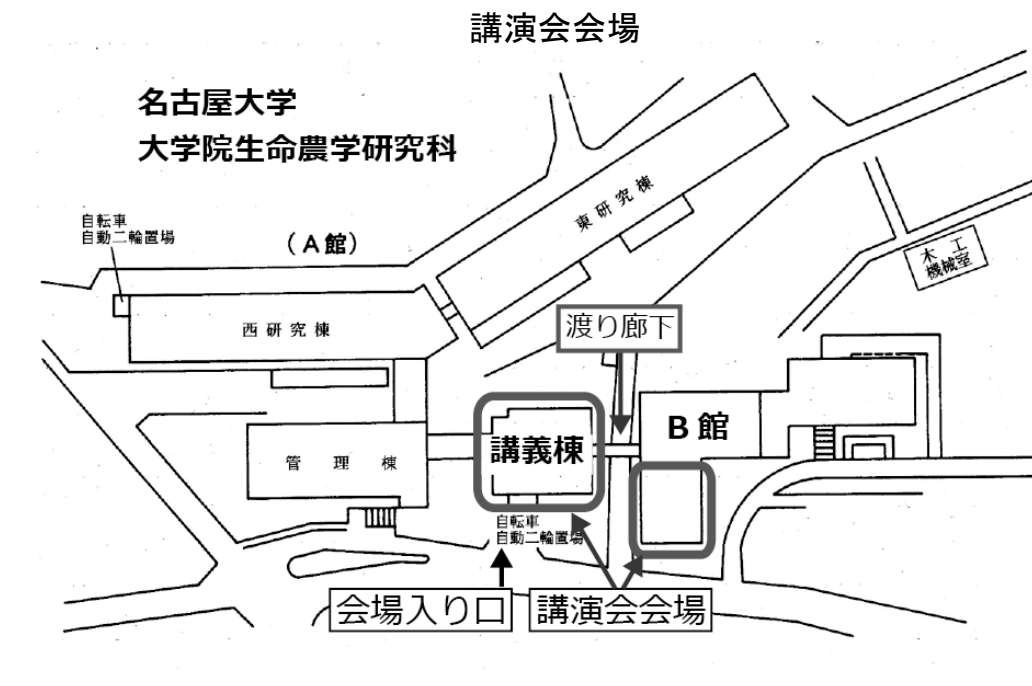
一般講演プログラム

3月20日(火)午前	A会場(第1講義室)	B会場(第2講義室)	C会場(第3講義室)	D会場(第8講義室)	E会場(第12講義室)
9:00	<p>A01 TALENによるセリシン1遺伝子イントロン領域へのノックイン</p> <p>○立松謙一郎・内野恵郎・瀬筒秀樹(農研機構)</p>	<p>B01 bHLH転写因子 <i>hairy</i> は幼若ホルモンによって組織特異的に誘導される</p> <p>下段詩絵理<sup>1</sup>・粥川琢巳<sup>2</sup>・小山みど梨<sup>1</sup>・石野遥菜<sup>1</sup>・鈴木大己<sup>1</sup>・内田康介<sup>1</sup>・梅浩平<sup>1</sup>・篠田徹郎<sup>2</sup>・○外川徹<sup>1</sup>(<sup>1</sup>日大文理・<sup>2</sup>農研機構)</p>	<p>C01 カイコ×クワコ交雑第一代とクワコのオス成虫のフェロモントラップでの捕獲</p> <p>○河本夏雄(農研機構)</p>	<p>D01 <i>Enterobacter</i> 属細菌が産生するカイコ軟化症状誘導物質について</p> <p>○森下舞<sup>1</sup>・飯山和弘<sup>2</sup>・宮本和久<sup>3</sup>・田中博光<sup>3</sup>・増田亮津<sup>1</sup>・門宏明<sup>2</sup>・李在萬<sup>2</sup>・日下部宜宏<sup>2</sup>・青木智佐<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九大院生資環・<sup>2</sup>九大院農・<sup>3</sup>農研機構)</p>	<p>E01 第4染色体をクワコに置換したコンソミック系統における胚致死の原因解明</p> <p>○富原健太<sup>1</sup>・木内隆史<sup>1</sup>・小林淳<sup>2</sup>・川本宗孝<sup>1</sup>・豊田敦<sup>3</sup>・勝間進<sup>1</sup>・嶋田透<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大農・<sup>2</sup>山口大農・<sup>3</sup>遺伝研)</p>
9:15	<p>A02 Production of cloned transgenic silkworms by breeding non-diapausing parthenogenic strains</p> <p>○Valeriya Zabelina, Naoyuki Yonemura, Tetsuya Iizuka, Keiro Uchino, Hideki Sezutsu (NARO), Vyacheslav Klymenko (RSREU), František Sehnal (ENTU), Yuji Mochida, Yoko Takemura, Toshiki Tamura (ISDSF)</p>	<p>B02 雌蚕の成熟過程における BmiGF の役割 - 脂肪体と生殖原基への影響 -</p> <p>○瀧澤真次(日大院・生資・応生)・藪健史(日大・生資・応生)・舩廣善和(日大・生資・応生)・司馬肇(日大・生資・応生)</p>	<p>C02 クワコの発消長による化性の決定機構の推定</p> <p>富田秀一郎・行弘研司・河本夏雄(農研機構・生物機能)・阪口洋樹・和田旭紘・伊藤雅信(京都工繊大)</p>	<p>D02 ネットタイシマカにおける Cry44Aa トキシンレセプターの評価</p> <p>○浅野真一郎・小野山雄亮・中神あゆみ・中尾悠太・佐藤昌直・伴戸久徳(北大院農)</p>	<p>E02 卵色突然変異を利用した CRISPR/Cas9 によるゲノム編集効率の最適化</p> <p>○米村真之・ザベリナ バレリヤ・炭谷めぐみ・坪田拓也・飯塚哲也・瀬筒秀樹(農研機構)・田村俊樹(蚕技研)</p>
9:30	<p>A03 超極細シルク生産遺伝子組換えカイコの隔離飼育試験</p> <p>○池田真琴・木内彩絵・桑原伸夫(群馬蚕技セ)・河本夏雄・飯塚哲也・岡田英二・瀬筒秀樹・富田秀一郎(農研機構)</p>	<p>B03 インスリンとエクジステロイドの濃度変化で調整されるカイコの翅原基の成長と変態</p> <p>○川崎秀樹・Rima Shahin・岩永将司(宇大農)</p>	<p>C03 クワコ集団のミトコンドリア COI 遺伝子ハプロタイプの頻度変動</p> <p>○伊藤雅信・阪口洋樹(京都工繊大)・行弘研司(農研機構)</p>	<p>D03 Cry 毒素上の受容体 ABC トランスポーター C2 との結合に重要なアミノ酸残基の解析</p> <p>○阿出川さとみ<sup>1,2</sup>・山口奈緒美<sup>3</sup>・佐藤令一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農工大 BASE・<sup>2</sup>JSPS 特別研究員 DC・<sup>3</sup>農工大農)</p>	<p>E03 カイコへの効率的な変異導入を目指した CRISPR/Cas9 システムの条件検討</p> <p>○木内隆史・勝間進・嶋田透(東大院農)</p>
9:45	<p>A04 緑色蛍光シルク生産遺伝子組換えカイコの農家飼育について</p> <p>○飯塚哲也(農研機構)・桑原伸夫・池田真琴・伊藤寛(群馬蚕技セ)・河本夏雄・岡田英二・中島健一・瀬筒秀樹・富田秀一郎(農研機構)</p>	<p>B04 Target of Rapamycin (TOR) による Verson's gland 細胞死コミットメントの誘導</p> <p>○金児雄・比留間潔(弘前大・農学生命)</p>	<p>C04 九州周辺島嶼におけるクワコの遺伝的多様化</p> <p>○行弘研司・河本夏雄・富田秀一郎・瀬筒秀樹・志村幸子(農研機構)・伴野豊(九大農)</p>	<p>D04 カドヘリン様タンパク質遺伝子欠損変異カイコの Cry 毒素感受性</p> <p>○渡部 賢司・高須 陽子・和田 早苗・村上理都子・飯塚 哲也(農研機構生物研)・佐藤 令一(農工大 BASE)・宮本 和久(農研機構生物研)</p>	<p>E04 エリサン <i>Samia ricini</i> におけるゲノム編集技術の確立</p> <p>○李允求・木内隆史・嶋田透・勝間進(東大院農)</p>
10:00	<p>A05 カイコ除殻卵の長期保存に向けたガラス化凍結の試み</p> <p>○福森寿善・伴野豊(九大院農)</p>	<p>B05 カイコガ IGF 様ペプチド遺伝子欠損変異体の解析</p> <p>○藤永大輝(東大・新領域・先端生命)・八木克将(名大・理・生命)・塩見邦博(信大・繊維)片岡宏誌(東大・新領域・先端生命)・溝口明(愛知学院大・教養)</p>	<p>C05 ニンギョウトビケラ BAC-library の構築</p> <p>○藤本章晃(岩大院・連合農)・鈴木剛(大教大・教育)・安河内祐二(農研機構・昆虫ゲノム)・佐原健(岩大・農)</p>	<p>D05 集団母蛾検査で得られた微胞子虫の2手法による性状調査</p> <p>○山本裕一<sup>1</sup>・小川健太<sup>1</sup>・樋口瑠里子<sup>1</sup>・畠山吉則<sup>1</sup>・野澤瑞佳<sup>2</sup>・岩野秀俊<sup>1</sup>(<sup>1</sup>日大生物資源応昆研・<sup>2</sup>(財) 大日本蚕糸会蚕業技術研究所)</p>	<p>E05 Kr-h1によるカイコの変態抑制機構</p> <p>山下大志・大出高弘・○大門高明(京大院農)</p>
10:15	<p>A06 カイコ卵巣凍結保存における魚類不凍タンパク質添加の影響</p> <p>○吉永啓恵<sup>1</sup>・長崎紀代美<sup>2</sup>・江田将子<sup>2</sup>・福森寿善<sup>2</sup>・伴野豊<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九大生資環・<sup>2</sup>九大院農)</p>	<p>B06 生殖休眠中のクワキジラミにおける幼若ホルモンの投与によるピテロジェニン遺伝子の発現誘導</p> <p>○薩埵克也・木内隆史・勝間進・嶋田透(東大農)</p>	<p>C06 BAC-FISH 比較に向けたモンキチョウ RNA-seq 解析</p> <p>○大野瑞紀(岩手大農)・鈴木剛(大教大)・安河内祐二(農研機構)・佐原健(岩手大農)</p>	<p>D06 <i>in vitro</i> DNA 連結による BmNPV ゲノム構築プラットフォームの確立</p> <p>○原田直人・石橋大樹・浅野真一郎・佐藤昌直・伴戸久徳(北大院農)</p>	<p>E06 ヘテロクロニック遺伝子 <i>let-7</i> によるカイコの変態制御機構</p> <p>○乾智洋(京大院農)・瀬筒秀樹(農研機構)・大出高弘(京大院農)・大門高明(京大院農)</p>

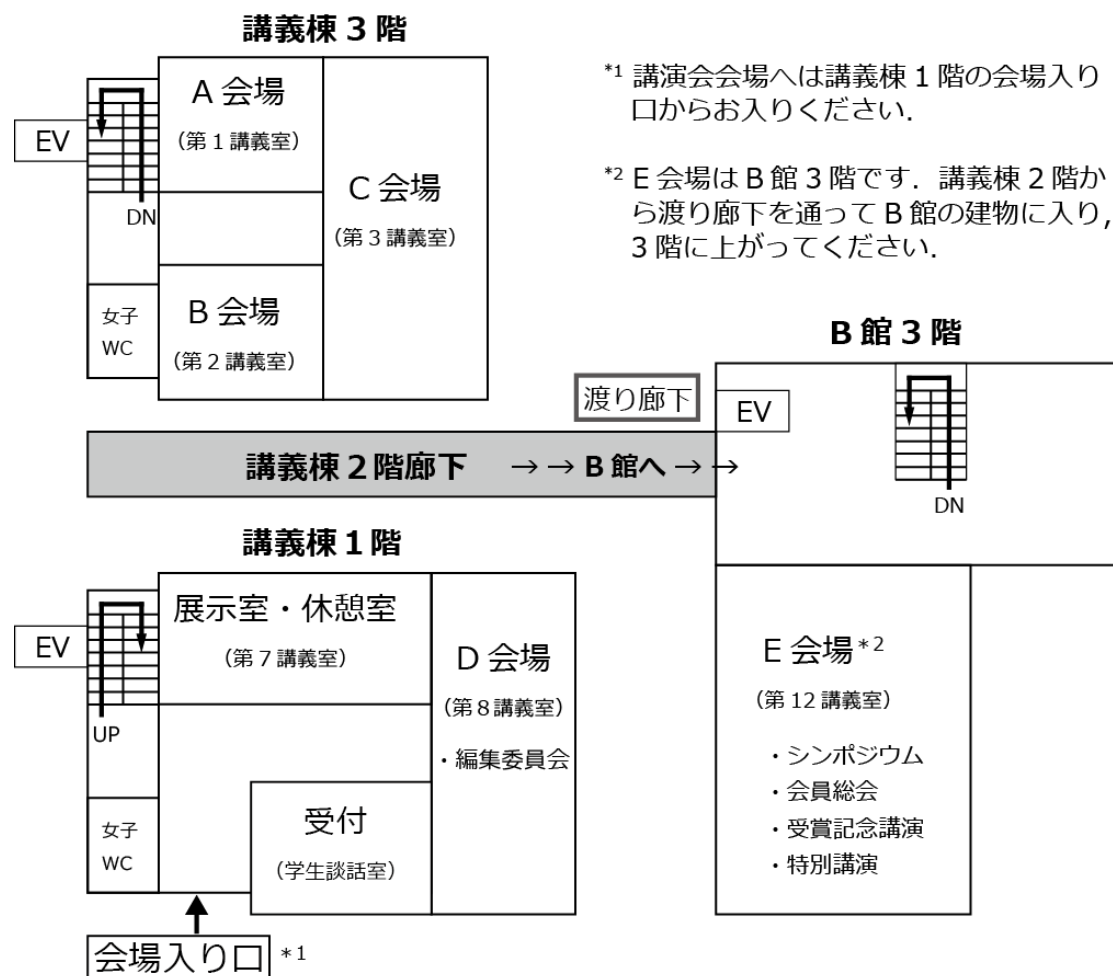
3月20日(火) 午前	A会場(第1講義室)	B会場(第2講義室)	C会場(第3講義室)	D会場(第8講義室)	E会場(第12講義室)
10:30	<p>A07 長期冷蔵による天蚕卵の保存と各保存温度の孵化率と人工飼料育の検討</p> <p>○宮田将光・實川未果・梶浦善太(信大織)</p>	<p>B07 カイコ脳及びアラタ体におけるRabとBombyxinに関する免疫組織化学的解析</p> <p>○尾崎屋悠祐・金丸研吾・宇野知秀(神戸大院農)</p>	<p>C07 ddRAD-seq/QTL解析による、繭多収量性に関与するゲノム領域の探索</p> <p>○横井翔・上樂明也・桑崎誠剛・岡田英二・飯塚哲也・亀田恒徳・山本公子(農研機構・生物機能利用研究部門, JST/JICA-SATREPS)</p>	<p>D07 対応分析法を用いたバキュロウイルス感染カイコのトランスクリプトーム解析</p> <p>○松田(今井)典子<sup>1,2</sup>・川本宗孝<sup>2</sup>・國生龍平<sup>2</sup>・勝間進<sup>2</sup>・矢野健太郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>明大農・<sup>2</sup>東大農)</p>	<p>E07 <i>broad</i> 強制発現カイコから蛹化プロセスの遺伝子基盤を探る</p> <p>○大山千春(京大農)・大出高弘(京大院農)・瀬筒秀樹(農研機構)・大門高明(京大院農)</p>
10:45	<p>A08 ナミテントウの卵巣凍結保存</p> <p>○川口はるか<sup>1</sup>・新美輝幸<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>基生研進化発生・<sup>2</sup>総研大生命科学)</p>	<p>B08 幼若ホルモンと20Eがカイコ精子生産に及ぼす影響</p> <p>○由利昂大<sup>1</sup>・金児雄<sup>2</sup>・佐原健<sup>1</sup>(<sup>1</sup>岩手大院農・<sup>2</sup>弘前大農生)</p>	<p>C08 カイコ薄紙繭突然変異の繭形質の性状解析とポジショナルクローニング</p> <p>○高橋優作<sup>1</sup>・藤井毅<sup>1,2</sup>・横山岳<sup>1</sup>・伊藤克彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農工大院農・<sup>2</sup>東大院農)</p>	<p>D08 行動活性を評価する新規手法を用いたカイコ核多角体病ウイルスBm96遺伝子の機能解析</p> <p>○疋田弘之・國生龍平・嶋田透・勝間進(東大院農)</p>	<p>E08 無変態昆虫マダラシミの胚発生前期では、幼若ホルモン関連遺伝子群はどのように発現しているのか</p> <p>○峯村優儀<sup>1</sup>・大出高弘<sup>1</sup>・新美輝幸<sup>2</sup>・塩月孝博<sup>3</sup>・大門高明<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京大院農・<sup>2</sup>基生研進化発生・<sup>3</sup>島根大院生物資源)</p>
11:00	<p>A09 全齢人工飼料育への提言</p> <p>○山口明雄(旧カネボウシルク(株)蚕糸生物研究所)</p>	<p>B09 精子成熟に伴う精子吸着性テロシンリン酸化タンパク質BmSfp25の変化</p> <p>○長岡純治・土居梓・畑山紗智子・近藤由紀子(京工織大・応用生物)</p>	<p>C09 ヒトのパーキンソン病のモデルとされるカイコ(<i>op</i>, 致死レモン)の動きならびに結果を再考した</p> <p>○阿部広明(農工大農)</p>	<p>D09 BmNPV感染細胞において宿主ミトコンドリアに局在するウイルスタンパク質の解析</p> <p>○藤本正太<sup>1,2</sup>・疋田弘之<sup>3</sup>・國生龍平<sup>3</sup>・鈴木智大<sup>4</sup>・勝間進<sup>3</sup>・川崎秀樹<sup>2</sup>・岩永将司<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>農工大院連合・<sup>2</sup>宇大農・<sup>3</sup>東大院農・<sup>4</sup>宇大バイオ)</p>	<p>E09 <i>doublesex</i> ノックアウトカイコを用いた性分化における<i>Bmdsx</i>の機能解析</p> <p>○松岡美里<sup>1</sup>・炭谷めぐみ<sup>2</sup>・青木不学<sup>1</sup>・瀬筒秀樹<sup>2</sup>・鈴木雅京<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大院新領域・<sup>2</sup>農研機構・生物機能)</p>
11:15	<p>A10 単糖 N-アセチルグルコサミンを修飾した絹フィブロインの作出</p> <p>○後藤洋子(農研機構生物機能)・山崎俊正(農研機構高度解析センター)・伊勢裕彦(九州大先導研)</p>	<p>B10 カイコ精巣内 apical cell の胚期から成虫期までの動向</p> <p>○山舖直子(酪農学園大)</p>	<p>C10 19 致死および皮膚光沢遅蚕の連関群の再調査</p> <p>○伊藤克彦<sup>1</sup>・藤井毅<sup>1,2</sup>・横山岳<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農工大院農・<sup>2</sup>東大院農)</p>	<p>D10 バキュロウイルス核膜タンパク質Bm5/Ac13の局在機構解析</p> <p>○永峰俊弘・稲葉岳彦・佐甲靖志(理研)</p>	<p>E10 Doublesex 非依存的にカイコの性分化を担う因子の探索</p> <p>○笠原良太<sup>1</sup>・炭谷めぐみ<sup>2</sup>・青木不学<sup>1</sup>・瀬筒秀樹<sup>2</sup>・鈴木雅京<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大院新領域・<sup>2</sup>農研機構・生物機能)</p>
11:30	<p>A11 アジド基をもつ非天然型アミノ酸を効率よくフィブロインに導入できる遺伝子組換えカイコの作出</p> <p>○寺本英敏・小島 桂(農研機構)・坂本健作・天野芳美・伊良波史枝・伊藤拓宏(理研)</p>	<p>B11 MLX56 や LA-b 等クワ乳液由来 MLX56 様耐虫タンパク質が示す囲食膜肥厚による耐虫効果と Extensin 領域の役割</p> <p>○今野浩太郎・志村幸子・上野千尋・新川徹・中村匡利(農研機構)</p>	<p>C11 カイコの成虫寿命を短くする遺伝子 <i>sli</i> の解析</p> <p>○津田萌<sup>1</sup>・藤井毅<sup>1,2</sup>・横山岳<sup>1</sup>・伊藤克彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農工大院農・<sup>2</sup>東大院農)</p>	<p>D11 BmNPV の ARIF-1 は気管の非末端部位からの感染に重要である</p> <p>○國生龍平・勝間進(東大院農)</p>	<p>E11 Transgenesis of the zinc finger protein gene, <i>Bmznf-2</i> in the silkworm <i>Bombyx mori</i> for clarifying its function in sex determination</p> <p>○Gajula Gopinath・Takashi Kiuchi・Jung Lee・Toru Shimada(東大院農)</p>
11:45	<p>A12 FGF-7 内包化タンパク質微結晶を含有する絹糸素材の開発とその細胞増殖制御への応用</p> <p>○丸田莉奈<sup>1</sup>・小谷英治<sup>1</sup>・高木圭子<sup>1</sup>・瀬筒秀樹<sup>2</sup>・森 肇<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京工織大院・<sup>2</sup>農研機構)</p>	<p>B12 沖縄地方に適應する果実生産用倍数性クワ系統の育成</p> <p>○小山朗夫(浦添シルバー人材センター)</p>	<p>C12 モノソミーカイコの後代</p> <p>○佐原健・松本祐希名・吉戸敦生(岩大農)・川本宗孝(東大院農)・安河内祐二(農研機構昆虫ゲノム)・金児雄(弘前大農)</p>	<p>D12 カイコ核多角体病ウイルス感染細胞におけるCHIPの機能解析</p> <p>○佐藤元紀<sup>1</sup>・藤本正太<sup>1</sup>・倉石悠太郎<sup>1</sup>・勝間進<sup>2</sup>・川崎秀樹<sup>1</sup>・岩永将司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>宇大農・<sup>2</sup>東大農)</p>	<p>E12 カイコ <i>Sxl</i> 遺伝子は無核精子形成に必須である</p> <p>○酒井弘貴<sup>1</sup>・大島宏之<sup>2</sup>・由利昂大<sup>3</sup>・後藤寛貴<sup>2</sup>・大門高明<sup>4</sup>・柳沼利信<sup>2</sup>・佐原 健<sup>3</sup>・新美輝幸<sup>1,5</sup>(<sup>1</sup>基生研進化発生・<sup>2</sup>名大院生命科学・<sup>3</sup>岩手大院農・<sup>4</sup>京大院農・<sup>5</sup>総研大生命科学)</p>
12:00	昼休み		昼休み		

3月20日(火)午後	A会場(第1講義室)	B会場(第2講義室)	C会場(第3講義室)	D会場(第8講義室)	E会場(第12講義室)
13:00	<p>A13 ガンマーカー(CEA)を認識するアフィニティーシルクによるELISA系の構築</p> <p>○小島桂(農研機構)・佐藤充(農研機構)</p>	<p>B13 ムカシシロアリおよびキゴキブリの細胞内共生細菌ゲノムの平行退縮進化</p> <p>金城幸宏(OIST)・Thomas Bourguignon(OIST)・本郷裕一(東工大)・Nathan Lo(シドニー大)・○徳田岳(琉球大)</p>	<p>C13 カイコ培養細胞において持続感染している昆虫マキユラウイルスは二つの異なった small RNA 経路によって抑制される</p> <p>○庄司佳祐(宇大院農)・泉奈津子(東大分生研)・鈴木穰(東大院新領域)・泊幸秀(東大分生研)・東大院新領域)・岩永将司(宇大農)・勝間進(東大院農)</p>	<p>D13 こんにやくシルク～こんにやく飛粉配合人工飼料による高機能シルクの創出～</p> <p>○神田涼・○小杉彩加・○成田龍希・○板谷ななこ・○持田隼佑・○高野寧花(樹徳高等学校)</p>	<p>E13 アワノメイガ属嗅覚受容体遺伝子のアンプリコンシーケンシング解析</p> <p>○安河内祐二・上樂明也(農研機構)・石川幸男(東大院農)</p>
13:15	<p>A14 部位特異的架橋技術を用いたカイコ生産ウイルス様粒子表面への分子ディスプレイ</p> <p>○増田亮津<sup>1</sup>・木下友里恵<sup>1</sup>・森尾明大<sup>1</sup>・宮田健<sup>2</sup>・神谷典穂<sup>3</sup>・李在萬<sup>4</sup>・日下部宜宏<sup>4</sup>(<sup>1</sup>九大院生資環・<sup>2</sup>鹿大院農・<sup>3</sup>九大院工・<sup>4</sup>九大院農)</p>	<p>B14 核多角体病ウイルス感染カイコ細胞のアポトーシス誘導におけるBm-p53の機能解析</p> <p>○牧野静花・浜島りな・富崎萌・小林迪弘・山田早人・池田素子(名大院生命農)</p>	<p>C14 カイコ培養細胞におけるORC・HP1相互作用解析</p> <p>○日野真人(九大院農)・門宏明(九大院農)・李在萬(九大院農)・日下部宜宏(九大院農)</p>	<p>D14 家蚕絹糸線より得られるフィブロインの不溶性フィルム調製に関する新提案</p> <p>吉岡太陽<sup>1</sup>・○秦珠子<sup>1</sup>・小島桂<sup>1</sup>・中澤靖元<sup>2</sup>・亀田恒徳<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農研機構・<sup>2</sup>東京農工大)</p>	<p>E14 Crispr/Cas9による尿酸合成不全型油蚕(oya, ohi, oq)のモザイク解析</p> <p>○藤井告(九大農)・山本和典(九大農)・福森寿善(九大農)・伴野豊(九大農)</p>
13:30	<p>A15 健康長寿社会実現のための養蚕イノベーション(1)C.エレガンス、マウス・ラット、ヒト試験の評価系の導入</p> <p>石黒慎一・苅間澤真弓・シラバコング=ピヤマース・江幡真規子・江幡順良・石黒裕美・○鈴木幸一(株・バイオコクーン研究所)</p>	<p>B15 カイコにおけるカスパーゼのアダプター因子相同体Bm-Darkの機能解析</p> <p>○山田早人・小林迪弘・池田素子(名大院生命農)</p>	<p>C15 カイコ広食性系統Jの主働遺伝子pphの同定</p> <p>○菊地玄太・木内隆史・川本宗孝・李允求(東大農)・竹村洋子・大沼昭夫・新保博(蚕技研)・勝間進・嶋田透(東大農)</p>	<p>D15 裸蛹蚕Nd強×黄繭蚕品種による交雑蚕繭作と抽出セリシン利用(続報)</p> <p>○安田勝年(元岐阜生物産研)・石塚保行(㈱バイオ未来工房)</p>	<p>E15 カイコyellow遺伝子の発現制御領域のエンハンサー解析とシスモジュール制御</p> <p>○鈴木誉保(農研機構)・越川滋行(北大)・小林功(農研機構)・内野恵郎(農研機構)・瀬筒秀樹(農研機構)</p>
13:45	<p>A16 炭酸水浸漬処理によるカイコ卵の単為発生とその誘発方法の検討</p> <p>○大石紗織<sup>1</sup>・藤井毅<sup>1,2</sup>・石川幸男<sup>2</sup>・伊藤克彦<sup>1</sup>・横山岳<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農工大院農・<sup>2</sup>東大院農)</p>	<p>B16 カイコマキユラウイルス感染継時的に転写量が増加する宿主細胞接着因子の解析</p> <p>○酒井大吉<sup>1</sup>・相澤昂洋<sup>1</sup>・長谷川智士<sup>2</sup>・庄司佳祐<sup>1</sup>・川本宗孝<sup>3</sup>・鈴木穰<sup>4</sup>・早崎芳夫<sup>5</sup>・川崎秀樹<sup>1</sup>・勝間進<sup>3</sup>・岩永将司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>宇大農・<sup>2</sup>宇大工・<sup>3</sup>東大院農・<sup>4</sup>東大院新領域・<sup>5</sup>宇大オプト)</p>	<p>C16 カイコから単離された2つ目のD2-likeドーパミン受容体BmDopR4の機能解析</p> <p>○石堂至雲・斎藤将也・太田広人(熊本大院・自然科学)</p>	<p>D16 繭糸の微細構造と多様性</p> <p>○赤井弘(東京農工大学)・関根理恵(江戸川大学)</p>	<p>E16 カイコBm系統の原因遺伝子の探索</p> <p>○嵯峨新樹・藤本章晃(岩大農)・伴野豊(九大院農)・安河内祐二(農研機構)・安藤俊哉(基生研)・伊藤克彦(農工大農)・佐原健(岩大農)</p>
14:00	<p>A17 幼若ホルモンセンサーを用いたリガンドスクリーニング</p> <p>○塩月孝博(島根大・生物資源)・山崎俊正・鈴木倫太郎・土屋渉(農研機構・高度解析センター)・菊田真吾(茨城大・農)</p>	<p>B17 ケニア産カイコ2品種におけるBombyx mori nucleopolyhedrovirusの経口接種に対する感受性特性調査</p> <p>○奥野正樹・宮本和久・勾坂晶・村上理都子・渡部賢司・亀田恒徳(農研機構)</p>	<p>C17 カイコの細胞性GABAトランスポーター遺伝子の発現特性と休眠誘導との関係</p> <p>尾辻奈菜<sup>1</sup>・小林正和<sup>1</sup>・山崎眞希<sup>1</sup>・高須陽子<sup>2</sup>・瀬筒秀樹<sup>2</sup>・溝口明<sup>3</sup>・○塩見邦博<sup>1</sup>(<sup>1</sup>信大織・<sup>2</sup>農研機構・<sup>3</sup>愛知学院大教養)</p>	<p>D17 カイコ繭の硬さの要因解明とセリシン成分の関係</p> <p>○鈴木峻介(日大文理)・間瀬啓介(日大文理)</p>	<p>E17 カイコ変異体優性赤蟻Iaにおける濃色メラニンの着色抑制メカニズム</p> <p>坂寄和哉(茨大理)・二橋亮(産総研)・坪田拓也・飯塚哲也・山本公子・瀬筒秀樹(農研機構)・○二橋美瑞子(茨大理)</p>
14:15	<p>A18 ショウジョウバエのフェロモン嗜好性に関わる神経回路の解析</p> <p>○前田直希(名大院理)</p>	<p>B18 RNAi法を用いたトビロウカの大腸菌感染時における免疫応答機構の解析</p> <p>○勾坂晶・村上理都子・田中博光・渡部賢司(農研機構)</p>	<p>C18 フタホシコオロギ(Gryllus bimaculatus)における菌感染が摂食行動に与える影響</p> <p>○久保健一・福村圭介・伊藤尚子・永田晋治(東大院新領域先端生命)</p>	<p>D18 繭糸結束方法の検討とその評価</p> <p>○中島健一・伊賀正年(農研機構)</p>	<p>E18 カイコ幼虫斑紋変異系統の解析で明らかになったことと未解明の課題</p> <p>○藤原晴彦(東大院新領域)</p>

3月20日(火) 午後	A会場(第1講義室)	B会場(第2講義室)	C会場(第3講義室)	D会場(第8講義室)	E会場(第12講義室)
14:30	<p>A19 カイコ卵で繁殖可能なクワコの卵寄生蜂 <i>Telenomus</i> sp.の産卵性</p> <p>○川端真由<sup>1</sup>・藤井毅<sup>1,2</sup>・伊藤克彦<sup>1</sup>・横山岳<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農工大院農・<sup>2</sup>東大院農)</p>	<p>B19 トビイロウンカにおける <i>Rice ragged stunt virus</i> 感染応答性遺伝子の探索・同定</p> <p>○村上理都子・勾坂晶・上樂明也・渡部賢司・田中博光(農研機構)</p>	<p>C19 フタホシコロギ <i>Gryllus bimaculatus</i> における AKH シグナリングが栄養分選好性行動へ与える影響</p> <p>○福村圭介・永田晋治(東大院・新領域・先端生命)</p>	<p>D19 生糸の力学物性と抱合性に対する煮繭法の影響</p> <p>○伊賀正年・中島健一(農研機構)</p>	<p>E19 カブトムシ成虫の Bark-carving behavior の再考:成虫の大アゴの三次元ギア(歯車)構造</p> <p>市石航・島田新平・本林隆・○阿部広明(農工大農)</p>
14:45	<p>A20 ウスタビガ蛹に寄生したヒメコバチ</p> <p>○齊藤準・朝日冨佳(京工繊大)・松尾和典(九大)</p>	<p>B20 <i>Wolbachia</i> 感染アワノメイガ初期胚の RNA-seq 解析による「オス殺し」因子の探索</p> <p>○川本宗孝<sup>1</sup>・福井崇弘<sup>1</sup>・濱中陽子<sup>1</sup>・木内隆史<sup>1</sup>・菅野純夫<sup>2</sup>・嶋田透<sup>1</sup>・鈴木穰<sup>2</sup>・勝間進<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大院農・<sup>2</sup>東大院新領域)</p>		<p>D20 放射光 X 線を用いた力学挙動と構造変化の同時測定により分かってきたシルクラしさのポイント</p> <p>○吉岡太陽(農研機構)・亀田恒徳(農研機構)</p>	<p>E20 カブトムシの角にみられる「折り畳みと展開」による三次元形態形成の分子機構</p> <p>足立晴彦(阪大院生命機能)・○後藤寛貴(名大院生命農)・松田佳祐(阪大医)・近藤滋(阪大院生命機能)</p>
15:00			<p>G01 グループ研究会 15:00-17:00</p> <p>クワコ研究会</p> <p>オーガナイザー: 行弘研司(農研機構)</p>		



会場までの交通アクセスと案内地図  
名古屋大学東山キャンパスマップ



**鉄道をご利用の場合**

地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車，2 番出入口から徒歩 5 分

【JR名古屋駅・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅から】

地下鉄東山線藤が丘行き（栄・東山公園方面）に乗車し，本山駅で地下鉄名城線右回り（八事・新瑞橋方面）に乗り換え，名古屋大学駅下車。所要時間約 30 分（乗換含）

【JR金山駅・名鉄金山駅から】

地下鉄名城線左回り（新瑞橋・八事方面）に乗車し，名古屋大学駅下車。所要時間約 25 分

**航空機をご利用の場合**

【中部国際空港から】

空港から名鉄ミュースカイまたは名鉄特急，急行等に乗車し，金山駅または名古屋駅で下車，その後地下鉄に乗り換え（上記参照）

【県営名古屋空港（小牧）から】

空港から空港バスで名古屋栄または名古屋駅に出て，地下鉄に乗り換え

もしくは，路線バスにて周辺駅へ出て，鉄道にて名古屋市内へ移動し，地下鉄に乗り換え

**自動車をご利用の場合**

学外者の入講は有料（1 時間 600 円）です。できる限り，公共交通機関でお越しください。

（このページは，名古屋大学大学院生命農学研究科から許可を得て同ウェブサイトより転載）